

西建協だより

329号

2021年12月



西建協 HP QRコード

本年四月には長年の懸案であった一般社団法人を創設することができました。残念ながら、昨年からのコロナは終息せず、発足報告会も開催することができませんでしたが、「西建協だより」をはじめ従来からの事業をしつかりと引継ぎ、更に西多摩の建設業の発展や地域の安全のために尽力してきた所存です。そこで、今年最後の本号では地元西多摩から国や都に選出された議員の皆様により、紙面にて今年一年を振り返ってもらうことをお願いしました。今後も独りよがりにならずに更に地域のため、建設業の健全な発展のために頑張ってきたと思います。

新しい西多摩を 皆さんとともに。

自民党環境・温暖化対策調査会長

衆議院議員 井上 信治

榎森厚志理事長をはじめ西多摩建設業協会の皆さまには平素より大変お世話になっております。本年10月の衆議院総選挙では、皆さまのご推薦も賜り、おかげさまで7期目の当選をさせて頂きました。引き続き皆さまとともに西多摩のために頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

令和3年も、コロナと闘う1年となりました。建設業についても工事の延期や中止等の影響が出ていると伺っており、特に中小事業者の状況については私も大いに憂慮しております。健康・医療戦略担当大臣として取り組んできた国産ワクチン・国産治療薬の開発と生産などに引き続き尽力し、日常を取り戻してまいります。

本年はまた、国民が一丸となり、コロナ禍における東京オリンピック・パラリンピックを成功させることができました。国を挙げてのイベントは私たちに夢と希望を与え、ともに、会場や周辺インフラの整備など、国土整備の大きなチャンスともなるものです。

3年半後に開催される大阪・関西万博の成功等に向けても、引き続き全力で取り組んでまいります。

国においてはこのたび、事業規模79兆円の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を決定いたしました。防災・減災、国土強靱化の推進も一つの柱に据え、事業規模は5兆円となります。また、令和3年度補正予算においても、昨年度第3次補正予算に続き2年連続で2兆円を上回る公共事業予算を計上しました。西多摩においてもこれまで圏央道の延伸や国道16号線の拡幅などを着実に進めてまいりましたが、住民の利便性を高め地域経済を振興していくために、まだまだ整備すべきインフラは多くあります。国においても必要な予算を確保してまいりますので、ぜひ皆さまのお力添えをお願い致します。

最後になりますが、来年には参議院議員選挙が行われます。私たち自民党は防災・減災、国土強靱化の重要性等も引き続きしっかりと掲げ、正々堂々と政策を訴えてまいります。来る令和4年が皆さまにとって素晴らしい1年となりますよう祈念致します。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

令和三年を振り返って

東京都議会議員 清水 やすこ

一般社団法人西多摩建設業協会及び貴協会を構成する地元建設業界の皆様におかれましては日頃より都政にご理解、ご協力を賜り、御礼申し上げます。都議会議員の清水やすこです。

この一年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催や、衆議院総選挙や都議会議員選挙、そして新型コロナウイルス感染症に触れることなく、この一年を振り返ることはできません。皆さまの話を伺う中で、現場現場

でのコロナウイルス対策は、計り知れなかつたと思います。国は東京都のご理解とご協力に大変感謝致します。

私事で大変恐縮ですが、私自身も新型コロナウイルス感染症に罹患してしまい、しばらく公務を離れ、皆さまには大変ご心配・ご迷惑をお掛けいたしました。今も激しい頭痛などの後遺症に悩まされる日々が続きますが、沢山の励ましを胸に、自分が罹患した意味をしつかり捉えて、正直に政策反映させて参ります。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大という困難な状況の中でありながら、貴協会は本年4月、協会の一般社団法人化を実現しました。新生西多摩建設業協会の定款には建設業の発展だけでなく、「地域への貢献や防災」なども謳われており、社会貢献活動にも積極的にご尽力されるお姿に大いに励まされます。今後、益々のご活躍を期待いたします。

都政に目を向けますと新型コロナウイルス感染症対策に忙殺され、通常の政策がなかなか前に進んでおりません。多摩格差は依然として存在し、山岳地帯を抱える西多摩地域の防災、インフラの整備、無電柱化や交通などの問題解決も進んではおりますがスピードという点では遅いように感じます。私はこのような課題に対し、西多摩建設業協会の皆様に教わりながら、諦めずに取り組みで参ります。

結びに、新しい年が貴協会並びに地元建設業界の皆様にとって素晴らしい年となることをお祈り申し上げます。令和4年もどうぞよろしくお願致します。

令和三年を振り返って

東京都議会議員 森村 隆行

今年を振り返れば、新型コロナウイルス対応とオリパラ大会、そして都議選の3つが活動の柱となる一年でした。前者は都民ファーストの会のコロナ対策PT事務局長として、様々な提案を行いました。1〜2月にかけて

でPCR検査の大幅拡充に向けた提言。3月には変異株のゲノム解析体制確立とデルタ株の水際対策への提言。4〜7月は、多摩地域へのワクチン集団接種会場の設置を求める要請と、オリパラ大会を無観客で開催すべく会派をあげた運動に注力。これまで多くの方々が尽力された大会を、結果として無事開催できたことや、チケット収入の減を、感染防止策と暑さ対策が不要になったことで概ねカバーできそうなことなど、ほつとしていきます。

再選後は、都議会に新たに設置された新型コロナウイルスの特別委員会の委員に選出され、デルタ株の感染爆発に備えた病床の大幅確保のため、臨時医療施設の設置について調査に基づく働きかけを行いました。都は酸素提供と抗体カクテル療法を備えた臨時医療施設を整備、これらは多くの専門家が警鐘を鳴らす第六波への備えとして機能します。引き続き、都の感染防止策などの取組の審議にあたります。

コロナ禍での選挙は悩みが尽きませんでした。密を作らないことを旨とし、集会は開かず、発信はチラシの配布、街頭活動、オンライン、街宣車等で展開。選挙事務所の事務所開きも行わず、アクリル板による間仕切りの活用、室内のCO2を測定しながらこまめな換気、来訪者の検温や手指消毒の徹底、打ち合わせスペースの分散化など、できる限りの工夫をしながらの運営となりました。このような状況の中で、貴協会から頂いた推薦は大変心強くまた励みになり、この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。

お陰様で再選させて頂いた二期目も、皆様の声をしっかりと都政に届けられるよう努めて参ります。今後とも宜しくご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。

令和三年を振り返って

東京都議会議員 田村 利光

まず、西多摩建設業協会の皆様には、都議選、国政選挙における、並々ならぬご支援に感謝申し上げます。

さて、年の瀬も迫り、私なりに令和三年を振り返ってみたいと思います。

『コロナに始まり、コロナに終わった』一年。私も、微力ながらいくつかの施策を進めました。まず、西多摩にはなくてはならない公立病院の経営の下支え。西多摩には、奥多摩病院、青梅総合病院、阿伎留医療センター、福生病院の四つの公立病院があります。コロナ

ナ禍で経営がひっ迫する中、都の市町村振興基金の運用を弾力化し、いざという時の資金確保に繋げました。次に、集団ワクチン接種では、会場が当初味の素スタジアムという話でしたが、青梅線沿線からのアクセスのいい場所をと訴え、立川にも設置されました。商工会連合会へも働きかけ、地域の商工業の皆様にもいち早く接種できる環境を整えました。そして、第5波で自宅療養者が急増した際は、多摩地域は23区と違い、保健所が都の直轄のため、罹患者情報が市町村へ開示されず、患者やご家族のケアが行き届きませんでした。しかし、災害級の緊急事態であることを訴え、情報の開示へ道筋をつけました。今後も、変異株対策など、第6波を防ぐため感染防止策へ注力して参ります。そのような中、建築資材の不足による高騰が顕著です。東京都発注の工事での、弾力的な価格対応ができるよう力を尽くします。また、来年はアスベストの調査報告が義務化されるなど、建設業界を取り巻く環境も変化していきます。環境建設委員会理事として、現場に寄り添った施策展開を図ってまいります。引き続き皆様のご支援をよろしくお願ひし、年末のご挨拶とさせていただきます。よいお年をお迎えください。

令和三年度 土木技術講習会開催報告
災害対策安全委員会 秋葉 貴晴

令和三年十一月二十六日(金) (一社)西多摩建設業協会主催による土木技術講習会を開催しましたので報告いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中、福生市民会館小ホールにてソーシャルディスタンスを保ち、受付時には検温・消毒等の感染拡大防止対策を行い、賛助会員を含め受講者36社・95名での参加による土木技術講習会の開催いたしました。

技術講習では、講師に東京都西多摩建設事務所工事第一課長 田中浩嗣様をお招きし講義していただきました。講義内容は、最近変更されたガイドラインの内容や公共工事による品質確保取組方針の今年度追加・追記された内容、書類の簡素化・はんこレス対応を目的とした各様式の見直しなど東京都建設局H

西多摩建設業協会の防災グッズ 第二回

西多摩建設業協会の各社は道路復旧及び災害復旧を本業にしているため工事や作業のノウハウ、使用する建設重機そして作業員やオペレーターをすぐに手配でき迅速な復旧活動ができます。一般的にライフレインの復旧や救援物資の到着までは最低3日はかかると言われております。それまでの最初の72時間(3日)が勝負処といわれます。地元建設事業者の我々はそれに対応できると自負しています。その間、我々が活動するための食料や飲料水の備蓄も必要不可欠だと考えます。東日本大震災のとき、スーパーやコンビニには長蛇の列ができ多くの人が買い求めたのが水、トイレレットペーパー、カップラーメンだそうです。また、ライフレインがストップしてしまい、水や電気、ガスがない状態が続き、食料があっても調理できない。そんな教訓をもとに緊急用備蓄品を西建協は用意しました。一部抜粋ですが、紹介させていただきます。



緊急用備蓄品

予算・保管場所の制約があり十分な備蓄とはいえませんが、今後も計画をしております。国、都、地元自治体、関係団体と連携して更に信頼され行動できる協会を目指していきます。

◇あ と が き◇

こうして今年も無事に師走という季節を迎える事が出来ました。皆様におかれましてはお忙しい毎日を送られているかと存じます。はやり病も終息の兆しが見えてきたと感じる今日この頃。季節柄、寒くなる時期となり体調など崩してしまわれませんかよう、お気をつけ下さい。

～広報委員会～

P又、工事成績評価通知書の監督員と検査員の点数割振り、項目別評価表による優良加点はどのようにつけているか、どこを留意すればよいのか。迅速な資料の提出や工事近隣の地域対応は、創意工夫や熱意の加点につながり、監督員とのコミュニケーションを図ることが大事だとアドバイスをいただきました。

施工管理は、監督業務で気づいた点や留意点、施工不良事例の写真、工事検査での施工不良指摘事項などとても貴重なお話をいただきました。

この度、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、参加された皆様方のご協力のもと無事、土木技術講習会を開催出来たことを感謝申し上げます。開催にあたりご協力いただいた東京都西多摩建設事務所副所長 矢島剛様、並びに講師をしたいただいた工事第一課長 田中浩嗣様、とても有意義な講義をしていただきありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。



講習会場 参加者の様子



日建学院 青梅認定校
合格のための受験対策講座
2021年度開講講座のご案内

- 1級土木施工管理技士 一次・二次
一次:3月中旬～ 毎週 火・木(夜間) 280,000円(税込308,000円)
二次:7月中旬～ 毎週 火・木(夜間) 110,000円(税込121,000円)
- 1級建築施工管理技士 一次・二次
一次:2月中旬～ 毎週 火・木(夜間) 280,000円(税込308,000円)
- 2級土木施工管理技士 一次・二次
前期一次:3月中旬～ 毎週 月・水(夜間) 190,000円(税込209,000円)
後期一次・二次:6月中旬～ 毎週 火・木(夜間) 250,000円(税込275,000円)
- 2級建築施工管理技士 一次・二次
前期一次:3月下旬～ 毎週 月・水(夜間) 140,000円(税込154,000円)
後期一次・二次:8月中旬～ 毎週 月・水(夜間) 200,000円(税込220,000円)
- 給水装置工事主任技術者
8月下旬～ 毎週 火・木(夜間) 220,000円(税込242,000円)
- 宅地建物取引士
3月中旬～ 毎週 水(昼間) 230,000円(税込260,000円)

毎年たくさんの有資格者が
青梅校から誕生しています!



詳細は随時ご説明いたします。お気軽に下記までお問い合わせください。
青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
日建学院立川校 担当:高橋かおり 090-4171-6169

11月 事業報告

- 5日 事業委員会
- 11日 災害対策安全委員会
- 12日 広報委員会 328号編集
- 15日 総務委員会
- 16日 理事会
- 26日 技術講習会

12月 事業計画

- 3日 事業委員会
- 9日 災害対策安全委員会
- 16日 広報委員会 329号編集
- 16日 総務委員会
- 17日 災害対策委員会 年末パトロール
- 21日 理事会
- 21日 令和三年度 表彰式